

就労移行支援事業

防災訓練

5月に防災訓練を行いました。職員による通報訓練も行いました。また、高山市ハザードマップを見て、作業所周辺や自宅周辺の危険区域や避難場所の確認を行い、作業所周辺の避難場所へ実際に歩いていきました。



いざという時のためにしっかり行動できるように普段から避難場所の確認をおきたいです。

日頃から街を見てもしもの時のために避難場所等しっかり備えていきたいです。



避難訓練と聞くと怖いと思いましたが、大事な事なので、次からもしっかりと学びたいです。

実際に避難する場所を歩きました。電柱と消火器を見て歩き、火事があった場合などいつでも消火活動出来るようにします！



作業所から避難場所までの道を知らなかったのが覚えておき、何かあったらすぐに避難できるようにしたいです。



電柱に住所が書いてあるのを知ったので忘れないようにしたいです。

通報するとき今いる場所が分からない📍
そんな時は…

- 電柱で電柱番号や住所を確認
- スマートフォンのGPS機能を使う
- 自動販売機の住所表示を確認
- 交差点名を伝える
- 目印となる建物を伝える

卒業生の近況報告

株式会社駿河屋魚一様の精肉部で働くKさんにインタビューしました。

- ① どんなお仕事ですか？
生肉をパックして値段をつけたり、店に足りない商品を並べたりします。商品の在庫がどれくらいか管理もしています。
- ② どんな事に気を付けてお仕事をしていますか？
様々な種類のお肉があるので間違えてパックしないようにすること、また、店にある商品が空にならないように定期的に店に出てチェックをするようにしています。
- ③ お仕事をしていて楽しい事や嬉しいこと、逆に大変な事はありますか？
毎日精一杯やりますが、見落としやミスをする事がありません。そのようなミスがなく一日終わられた時は充実感を得ることが出来、それが嬉しいです。大変なことは、午前中が忙しいので優先順位を考えて仕事をすることです。
- ④ お給料はどのように使っていますか？
本を買ったり、ガソリン代、弁当代、携帯代などに使い、残りは貯金しています。
- ⑤ 就職を目指している訓練生にメッセージをお願いします。
今自分に出来る事を精一杯やることで信頼され、仕事を任せてもらえるようになります。一生懸命頑張ってください。



就労継続支援B型事業



～《4月》お花見に行きました！～

少し前になりますが、桜が満開の4月、少人数のグループに分かれてお花見をしました！なかなか思うように行事が開催できない状況ですが、満開の桜と青空の下、リフレッシュが出来ました！



～新しく自主製品を置かせていただくことになりました！～

《製品陳列の様子》



宇津江四十八滝にある『レストハウスしづき』様の店内に、青空作業所の自主製品の販売スペースを設置させていただきました。
※『レストハウスしづき』は、宇津江四十八滝県立自然公園の無料駐車場のすぐ近くにあります。
お立ち寄りの際は、ぜひ青空作業所の販売スペースも見て行ってください！

《お礼のコーナー》

◇◆◇タオルを寄付していただきました◇◆◇ (順不同)
株式会社下田道路様、青葉の会様、松下様、野村様、川田様
その他多数の利用者ご家族からも寄付して頂きました。誠にありがとうございました。

皆様から頂いたタオルや布を切り、机や手すりなどの消毒作業に使っています。引き続き、不要なタオルや布等があれば、お譲り頂けるとありがたいです。ご協力の程よろしくお願い致します。



手のひらサイズに切っています。



自分が使った机を消毒しています。

☆新スタッフ紹介☆



青空作業所のスタッフとしてお世話になります。
はぎのわきなるみ
秋ノ協成美と申します。

メンバーさんと共に楽しく頑張っていきたい
と思います。よろしくお願いたします。

就労支援の原点

柏木 真司

これまでの職業生活から心に残っていることを何回かにわたりお話ししたいと思います。

私は大学時代、医療ソーシャルワーカーを目指していました。就職活動ではいくつかの病院で実習を行ったり、求人に応募したりしましたが、何れも採用には至りませんでした。障がいや病気になる者の就職の困難さを身をもって感じた頃でした。そうしたなか大学の掲示板に職業カウンセラー募集の求人が目にとまりました。

その当時は、職業リハビリテーションなんて言葉も知らず、どのような仕事かもわからないまま、とにかく早く就職を決めたいとの一心で、応募し受験しました。そして私が就職したのが日本障害者雇用促進協会(現 高齢・障害・求職者雇用支援機構)です。採用通知を受け取った時の喜びは言葉では言い表せません。「これで親に頼らず一人で生きていける」と思いました。この時の気持ちが私の就労支援の原点となっています。

職業カウンセラーとして採用され、2ヶ月間東京での新人研修を受けた後、最初に赴任を命じられたのが、大分県別府市にある障害者職業センターでした。当時の上司から「別府市は障がい者福祉のメッカだから、色々なことが学べるので頑張ってください」と激励されたことを今でも鮮明に覚えています。

別府に来てからわかったことですが、戦争により負傷した軍人が、温泉療養のためにこの地に多く集まったのが始まりとのこと。そして別府には中村裕医師によって設立された「太陽の家」という大きな福祉施設があります。1965年当時に中村医師が掲げた「世に心身障がい者はあっても仕事に障がいはいり得ない」という理念はかなり先進的であったと思います。

(つづく)

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛驒 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<https://www.welcom-aozora.com/>
令和3年 7月 9日発行 第49号



理事長挨拶

柏木 真司

平素よりウェルコミュニティ飛驒 青空作業所に対しご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

殺伐としたコロナ禍においても確実に季節は移り変わり、本格的な夏を迎える頃、いつもなら開放的になりがちな気持ちを抑えつつ、引き続き感染予防に取り組んでいます。

さて、先日厚労省ホームページに「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」の報告書が公表されました。そこには「働くことを希望する障がい者に対しては、一般就労の実現に向けて納得感のある支援を提供すること」と書かれています。この納得感のある支援は障がいのある方だけではなく、受け入れる側の企業にも納得感が得られる支援を行うことが求められていると思います。これを実現するためには障がいのある方のみではなく、受け入れる企業をアセスメントする力とマネジメントする力が必要になります。

国の報告書では、人材の育成・確保の対策として研修体系の見直しが謳われています。これまでの研修では、障がいのある方に対するアセスメントは取り上げてきたものの、企業のアセスメントに関しては不十分です。また企業マネジメントに関しては、障害者の雇用の促進等に関する法律、障害者差別解消法、障害者虐待防止法、労働基準法、各種社会保険に関する知識とさらには職務分析のスキルも必要となります。

障がいのある方の就労は決して運や偶然で果たせるのものではありません。就労支援にかかる確かなスキルと知識が必要です。今後、就労支援に熱意を持った人材が多く育ってくることで確実に障がい者雇用は進展すると思います。

